



6月のアオーレ前11日行動でも切なる願いをアピール



柏崎刈羽原発再稼働の是非について
徹底して争点化を避けた花角知事
知事選でも県民に信を問おうとし
ないこの不誠実さを忘れない!

「東京電力柏崎刈羽原発再稼働の是非は県民に信を問う」との公約を投げ捨て昨年12月に県議会に諮って再稼働に同意した花角知事。せめて今回の知事選で、「信を問う手法」と「再稼働容認」について、一大争点として正面から掲げ県民に信を問うべきだったのではないのでしょうか。

新潟日報社がおこなった知事選の出口調査によれば、「対応を否定的にみた人の約3割、再稼働に否定的な人の約4割が花角さんを選出した」という。また、「原発はすでに動いており、争点にはならない」といった諦めや現状を追求するような声が聞かれたと述べています。

原発再稼働問題のような、県民のいのちとくらしに大きく関わることの決定にあたっては、県民投票など民主的なプロセスを経て民意を問ひ、県民の意思を尊重することこそが大切な事だったのです。土田竜吾さんが掲げた「常設型投票条例制定」は今後に生かしたい政策の一つです。

原発ノーの新たな運動の始まりです。

【花角知事と県に求めます】

★柏崎刈羽原発再稼働を認めた責任を背負い県民を守るために、東京電力に事故を絶対に起こさないよう、県による監視対策を強化すること。

★県の技術委員会の活動体制を強化し、原発に危険な兆候が見られたら、東電と結んだ安全協定に基づき躊躇なく原発停止を求めること。

東電またもトラブル発生!!!!

6/17 停止中の柏崎刈羽原発7号機、建屋内で配管から海水約2.6万ℓが漏れた。配管からの海水漏れは度々発生! 東電が原因調査中



政府による「原発建て替え案」に反対します。今こそ再生可能エネルギー100%早期実現を目指すエネルギー政策に転換するよう求めます。



福島原発事故の教訓を忘れたのでしょうか? 2023年に岸田内閣が原発の最大限活用に戻帰して以来、原発再稼働の推進、老朽原発の60年超活用の延命策策定等、安全よりも経済優先の原発政策を進めていきます。次世代型原発も原子力の持つ危険性に変わりはなく、決して安全ではありません。10年以上も管理し続けなければならぬ核のゴミ問題一つとってみても、今原発を作り使い続けることがいかに無責任で犯罪的なことか誰の目にも明らかです。また、原発の建設費は高騰を続けており膨大な額に膨らんでいます。世界の流れは、原発から再生可能エネルギーへの転換です。私たちは、日本も人類の未来への責任を果たし、原発ゼロ・再エネ100%を目指すよう求めます。

《今年度後半のイベントのお知らせ》

☆なくそテ原発 2026 柏崎大集会

9月20日(日) 大島堅一さん講演予定

☆ゼロネット結成15周年集会

11月23日(月・祝) 武藤類子さん講演

7月のアオーレ前宣伝行動は 7月11日(土) 12時~12時30分 ぜひご参加を!

原発ゼロ長岡市民ネットニュース
第170号 2026年6月22日発行

連絡先 広井洋子 長岡市寿2-5-15
電話・FAX 0258-24-2870

ホームページ

